

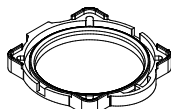
● ダイアフラムセット一覧 （セット品内容を確認してください。）

① 押え付ダイアフラム



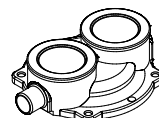
(2 枚)

② ダイアフラム受け



(2 個)

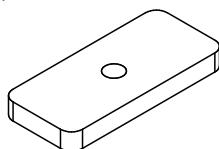
③ バルブボックスセット



(2 個)

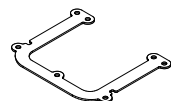
<JDK-120 用は若干形状が異なります。>

④ フィルタ



(1 枚)

⑤ フィルタカバーパッキン



(2 枚)

⑥ 座付六角ナット



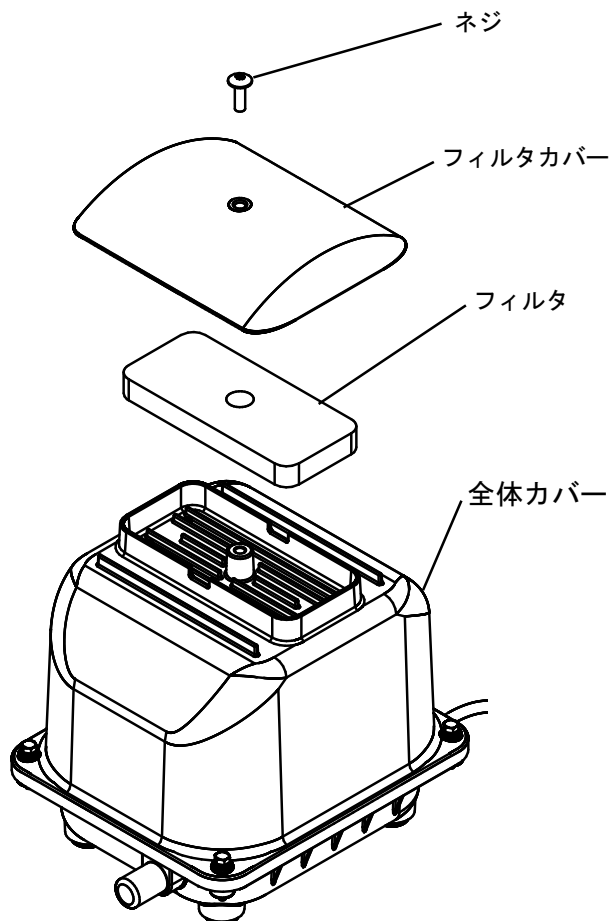
(2 個)


警告

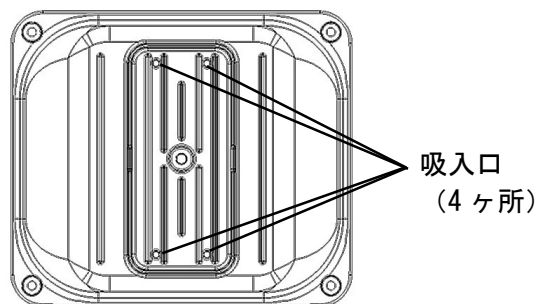
○交換作業を実施する前に必ず電源コードのプラグをコンセントから抜き、ブロワの運転を停止してから作業を行ってください。

◆ フィルタ及びフィルタカバーパッキンの交換

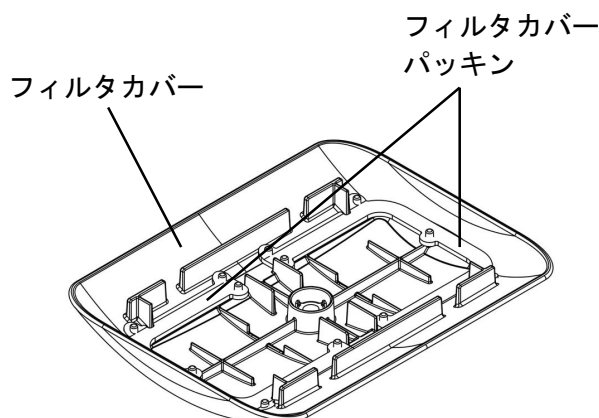
1) ブロワ上部のネジを外し、フィルタカバーを取り外してください。



2) フィルタを取り出し、吸入口に付着したゴミを掃除した後、新しいフィルタを取り付けてください。

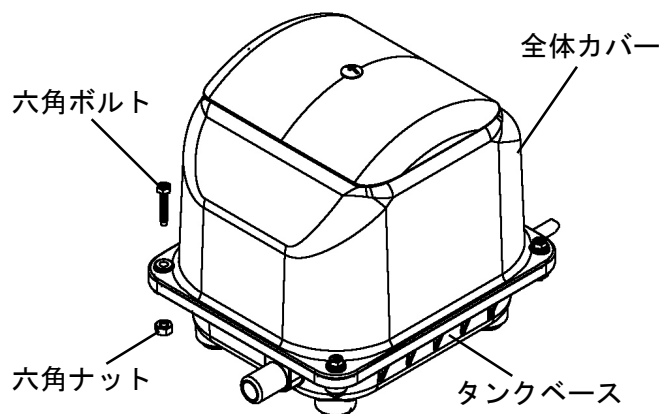


3) フィルタカバーのフィルタカバーパッキンを新しい物に交換し、元通り全体カバーに取り付け、しっかりとネジで固定してください。



◆ダイヤフラム及びバルブボックスセットの交換

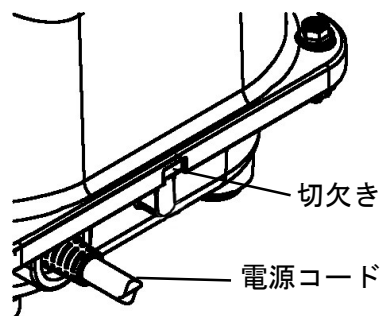
- 1) ⊕ドライバーで六角ボルト4本を外し、全体カバーを取り外してください。



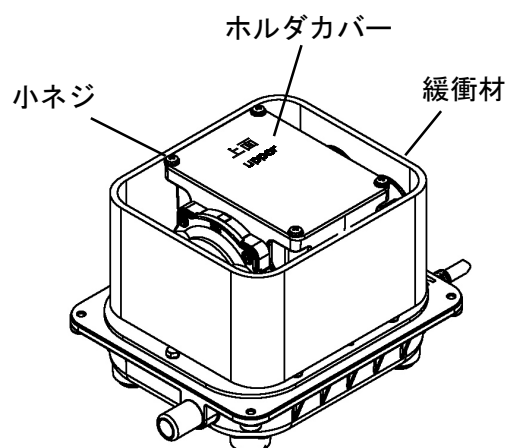
備考

六角ナットがタンクベースの裏側に有ります。六角ボルトを外すとき、六角ナットを紛失しないよう注意してください。

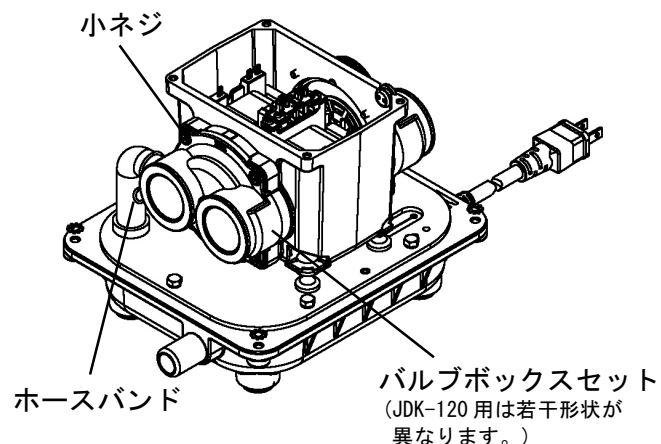
- 全体カバーが外れにくい時は、全体カバーの切欠き部に⊖ドライバーを差し込み、こじ開けて外してください。



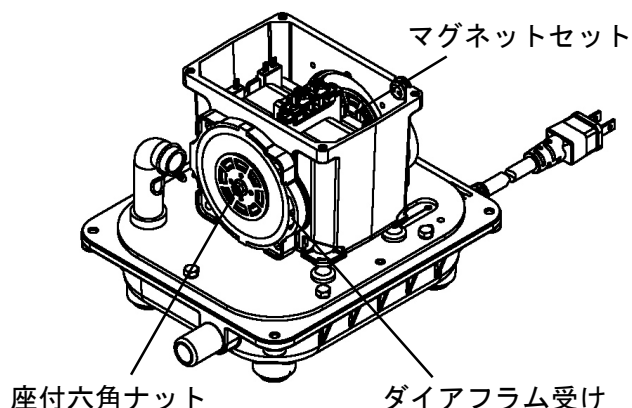
- 2) 緩衝材を外し、⊕ドライバーで小ネジを外し、ホルダカバーを取り外してください。



- 3) ⊕ドライバーでバルブボックスセットの小ネジを外し、ホースバンドを緩めてバルブボックスセットを取り外してください。



- 4) 呼び7のスパナ又はボックスドライバーで座付き六角ナットを外し、ダイヤフラム受けをマグネットセットから取り外してください。

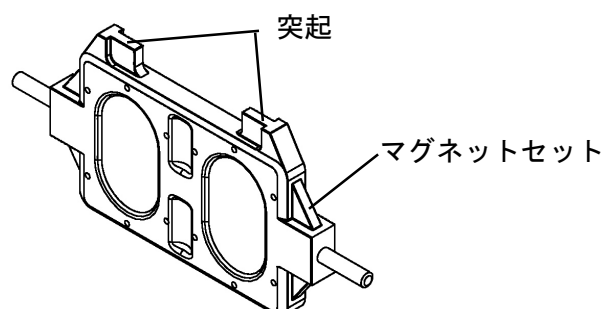


⚠ 注意

○マグネットの磁力が非常に強いので、マグネットセットの取扱には十分注意してください。

- 指を詰めるなどのケガをします。

※マグネットセットを交換される場合は、ここで古いマグネットセットを外し、新しいマグネットセットの2ヶ所の突起が上になるようにして、交換してください。



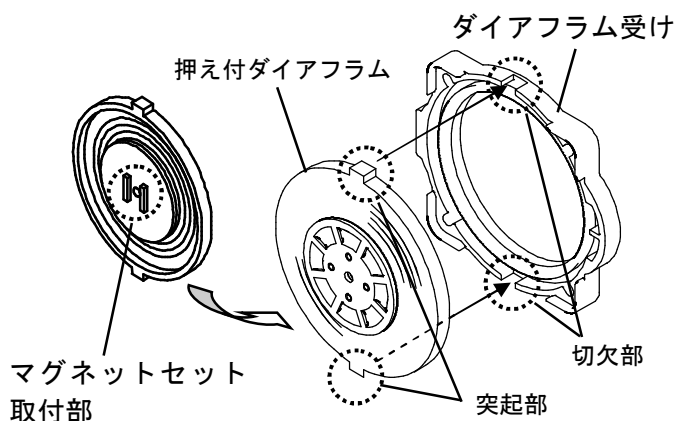
- 5) 新しい押え付ダイヤフラムを新しいダイヤフラム受けに取り付けてください。

備 考

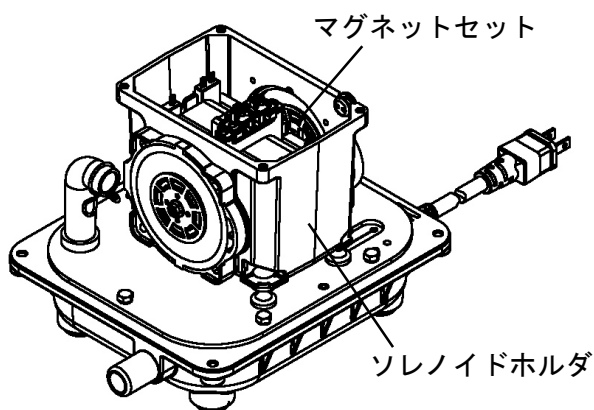
- 押え付ダイヤフラムをダイヤフラム受けに、しっかりと押し込んで取り付けてください。

注意！ 取り付け方が悪いとマグネットセットの偏りやダイヤフラムの寿命低下及び性能劣化の原因になります。

押え付ダイヤフラムのマグネットセット取付部をダイヤフラム受け側に向け、押え付ダイヤフラムの突起部とダイヤフラム受けの切欠部を合わせ、しっかりと外れないように全周を押えてはめ込んでください。



- 6) マグネットセットに押え付ダイヤフラムを元通り取り付け、ソレノイドホルダに取り付けてください。



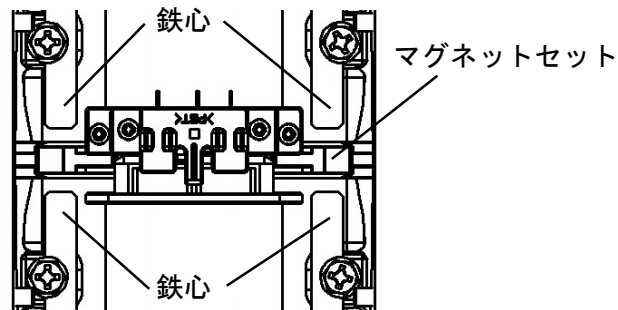
備 考

- 押え付ダイヤフラム、バルブボックスセットは、必ず両側を新品に換えてください。

注意！ 古い物をそのまま使用すると早期破損の原因になります。

- 7) 新しいバルブボックスセットを元通り取り付けてください。

この時、マグネットセットが、鉄心と鉄心の中央にあることを確認してください。中央に無い場合は、再度中央になるように組み直してください。



備 考

- マグネットセットが必ず中央にあることを確認してください。

注意！ 偏ったまま運転しますとダイヤフラムの寿命低下及びオートストッパーの誤動作の原因になります。

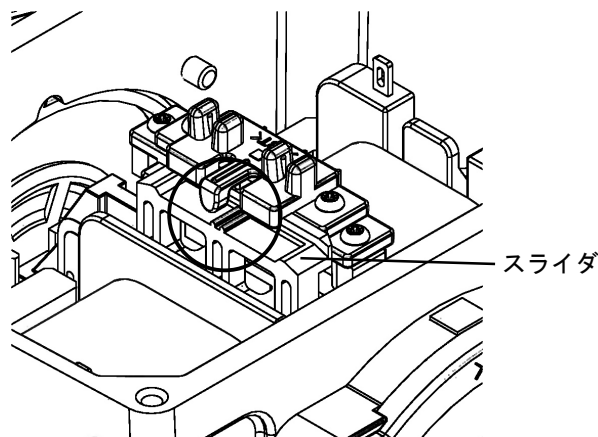
- 8) この時、オートストッパーのスライダがずれていれば、中央に合わせてください。

オートストップ機構のリセット

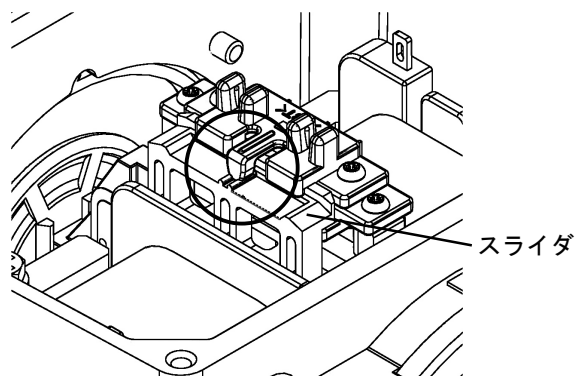
⚠ 警 告

- 電源コードをコンセントに差し込んだままオートストップ機構のリセットは絶対に行わないでください。
- マイクロスイッチの端子部に電気が流れていますので、触れると感電事故がおきます。
- オートストップ機構がONになると同時にマグネットセットが動きますので指を詰めるなどのケガをします。

下図のようにスライダが中央からずれている時は、中央にセットしてください。



下図の様に中央になった時、カチッと音がし固定されます。

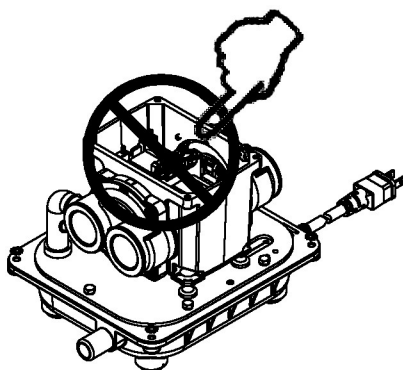


- 9) 電源プラグをコンセントに差し込み、マグネットセットが中央で往復運動し、空気が正常に出ている事を確認し、プラグをコンセントから抜いて次の作業に進んでください。

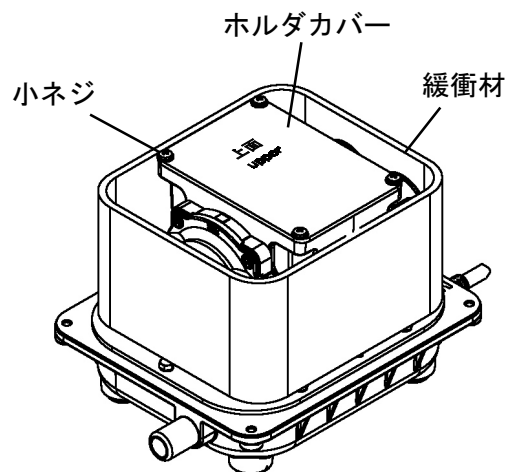
⚠ 警 告

○充電部が見える状態ですので、充電部には絶対触れないでください。

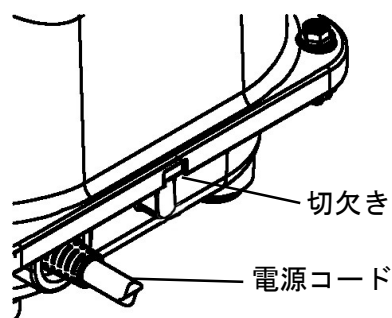
●感電事故を起こします。



- 10) 図の様にホルダカバーを小ネジで固定し、緩衝材を元通り取り付けてください。



- 11) 全体カバーの淵の切欠きがある方を電源コード側に向けて被せ、六角ボルトと六角ナットにてしっかりと締め付けてください。



組立後、電源を入れて空気が出ること、異音がないことをチェックしてから、元の位置に据付けてください。

本文中の注意事項

- 本書では、下記の注意表示を用いております。特に注意してください。

⚠ **警 告** 誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性があるもの。

⚠ **注 意** 誤った取り扱いをした時に、状況によっては重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

備 考 本文中のポイントとなる事項が補足説明してあります。必ずお読みください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

大晃機械工業株式会社